

令和7年度

学校運営協議会委員評価



日南市立油津中学校

①経営ビジョン重点目標: **学力の向上**

4段階評価 4…達成 3…概ね達成 2…改善の余地あり 1…工夫・改善が必要

	目指す生徒や職員の姿	手立てや具体的取組例	自己評価		学校運営協議会委員による評価	
			コメント(評価値は平均値)	評価	コメント	評価
1	学習意欲をもち、授業に積極的に参加している。	○生徒が主体となって学ぶ授業の構築(子どもの学び県研究指定) ・実態把握(諸テスト分析) ・理論研究(先進校視察、支援チームによる研修) ・公開授業(年3回)	保護者3.0 生徒3.0 職員3.2 ・生徒が主体的に学ぶ授業を目指して、全職員で授業改善に取り組むことができた。その成果として、保護者の一定の理解と、生徒の授業への意識の変容が若干見られたと考える。	3	・参観日、ずっとつぶせている生徒がいた。 ・主体的に取り組む授業ができ、生徒の意識の変化が見られたことは評価できます。	3 3 3 3
2	「がんばりノート」等を活用し、主体的に家庭学習に取り組んでいる。	・各学級での常時取組に加え、ノート終了時の校長による賞賛 ・専門委員会活動などでの好事例の紹介	保護者2.9 生徒3.2 職員2.7 ・生徒の評価に対して、保護者、教職員の評価がやや低い。家庭学習の習慣化と質の向上に向けた具体的な取組、家庭と連携した取組が必要である。	2	・がんばりノート等活用して、学力向上が必要である。 ・生徒、保護者、教職員の3本柱のうち、生徒と保護者のコミュニケーションが取れていないのでは? ・現実には子どもが思っているより大人が見ればできていないということですね。それをどうわからせるかが難しいところですね。	2 2 3 2
3	授業や学校行事などで様々な発表の場を経験し、自分の思いや考えを表現できるようになってきている。	・生徒会活動や学校行事での発表体験など、自分の考えを表現する場の設定	保護者3.2 生徒2.7 職員2.7 ・自分の思いや考えを言葉にして表現することを苦手としている生徒もまだまだ多いが、様々な活動の中で表現する体験を重ねていくことで、自己を表現できる力の育成を粘り強く行っていきたい。	3	・頭でわかっているでもそれを表現する力に欠けているということは、読解力が乏しいと思われる。真の頭脳が必要ですね。	3 3 3 3
4	周囲と話し合うなどの学校での諸活動とおして、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができるようになってきている。	・授業における協働、学び合いの場の設定 ・生徒総会など、行事やその準備の過程での意見交換の場の設定	保護者3.2 生徒3.2 職員3.2 ・授業改善の取組として、協働、学び合いの場を意図的に設定してきている。今後も取組を継続し、学び合いによって自分の考えを深めていけるような場の設定を行っていきたい。	3	・やはり口で伝える言葉には抑揚があるので、声を掛け合うことで、相手の様子、気持ちもわかると思う。とても大事なことです。	3 3 3 3
5	学校は個に応じた指導の充実に取り組んでおり、学力の向上に努めている。	・個別最適な学びに向けた授業の工夫	保護者3.1 生徒3.1 職員3.1 ・授業改善の取組として、理解の進んでいる生徒、進まない生徒、それぞれに応じた手立ての工夫を行ったが、まだ十分とは言えない。	3	・理解のできる生徒、できない生徒の対応が難しいですが、引き続きご指導をお願いします。	3 3 3 3

【今後の課題と改善策】※学校記入

○家庭学習の習慣化と質の向上が喫緊の課題。生徒と保護者、教職員の評価に認識の乖離が見られる。また、表現力や読解力の不足も指摘されており、自分の考えを言葉にする力をさらに伸ばす必要がある。「がんばりノート」の活用を柱に、家庭と連携した具体的な学習支援を強化し、学習習慣の定着を図るとともに、「子どもの学び研究」をおして、個に応じた指導を充実し、協働や学び合いのを意図的に設定することで、対話を通して思考を深める体験を粘り強く積み重ねていく。

総合評価

3

②経営ビジョン重点目標:

豊かな心の醸成

4段階評価

4…達成

3…概ね達成

2…改善の余地あり

1…工夫・改善が必要

	目指す生徒や職員の姿	手立てや具体的取組例	学校自己評価		学校運営協議会委員による評価	
			コメント(評価値は平均値)	評価	コメント	評価
6	意欲的に学校行事に取り組んでいる。	・生徒が主体となる行事計画、運営	保護者3.5 生徒3.6 職員3.7 ・全職員で支援し、生徒主体の行事を実施することができた。生徒の評価も非常に高い結果となった。	4	・体育祭、合唱コンクールなど、生徒の生き生きとした姿が見られる。 ・運動会、きびきびとした動きと一致団結に感動した。 ・学校行事となると別なスイッチが入るのでしようか、とても気持ちが乗って結果に表れていると思います。	3 4 4 4 4
7	基本的な生活習慣(あいさつや言葉遣い、時間を守って行動など)が身に付いている。	・あいさつの励行 ・「自己指導能力」の育成を目指した常時指導	保護者3.2 生徒3.3 職員3.1 ・率先してあいさつをできる生徒が増えてきている。今後も「自己指導能力の育成」を目指し、すべての教育活動をとらして指導を継続する。	3	・学校内でのあいさつは良いです。 ・ゴールドモーニング、朝から元気をもらえる。是非今後も続けてほしい取組である。 ・挨拶する生徒、しない生徒はいるが、我々大人が率先していくことも必要。 ・油津中男子生徒の挨拶はどこよりも一番と見ていたが、最近はずれかけているように思われる。 ・あいさつに関して、校外ではやらされているというより、自分の意志で行っていると思うので、大丈夫かと思えます。	3 3 3 3 3
8	いじめや差別を許さない、優しさや思いやりの心が育っている。	・いのちの教育の充実(日南市レインポープラン) ・人権教育週間の実施	保護者3.5 生徒3.4 職員3.1 ・生徒の自己評価の数値から、周囲を大切に心が育ってきていると感じる。今後も具体的な指導に加え、日常指導も充実させていきたい。	3	・おしゃべりしながら下校している様子は好感がもてる。 ・SNS全盛期の時代、AIによるフェイク文章、動画もあります。使い方を専門的に教育していく必要があると思います。	3 3 4 3
9	学校内外の地域ボランティア活動に積極的に取り組んでいる。	・地域協議会との連携による、地域ボランティア活動への積極的な取組 ・生徒への情報提供	保護者2.8 生徒2.6 職員3.3 ・一部の生徒の活動を、学校全体に広げていくために、活動の意義づけ、社会貢献や自己成長の場として捉えさせるなど、参加意欲を高めるための取組が必要。	2	・毎回油津地域協議会のボランティアに参加してもらって助かっています。一部の生徒かもしれませんが、多数参加してもらっている印象があります。 ・ボランティア活動を頑張っているにも関わらず、評価が低いように思う。 ・地域協議会による地区内清掃及びイルミネーションによる作業等、積極的に参加していることは素晴らしい。 ・積極的なボランティア活動参加に敬意を表します。また地域の人との会話に地域の皆さんが喜んでおられます。	3 3 3 3 3
10	学校は、生徒についての相談に適切に応じ、悩みを相談しやすい場になっている。	・定期的な教育相談の実施 ・スクールカウンセラーを活用した相談活動の実施 ・学校生活アンケートの実施による実態把握	保護者3.0 生徒3.1 職員3.4 ・悩みを相談しやすい雰囲気づくりとともに、相談の場の提供、定期的な実態把握アンケートなど、生徒がSOSを発信しやすい環境づくりに努める。	3	・人それぞれ受け取り方が違います。さらなる心のケアをお願いします。	3 3 3 3

【今後の課題と改善策】※学校記入

○地域ボランティア活動への参加を全体に広げていくことが課題。あいさつについても、時と場、所、相手に応じた主体的な実践が求められる。また、SNS等の適正利用を通じた、人権意識の向上も必要である。ボランティア活動を自己成長の場として周知することで、参加意欲を喚起していく。あいさつや生活習慣については、地域や保護者と連携し、大人が範を示すことで、生徒に「自己指導能力」の育成を目指す。また、相談活動を充実させ、SOSを発信しやすい環境を整えていく。

総合評価

3

③経営ビジョン重点目標: **健やかな体の育成**

4段階評価 4…達成 3…概ね達成 2…改善の余地あり 1…工夫・改善が必要

	目指す生徒や職員の姿	手立てや具体的取組例	自己評価		学校運営協議会委員による評価	
			コメント(評価値は平均値)	評価	コメント	評価
11	早寝早起き、食事の大切さについて理解し、健康管理ができるようになっていく。	・栄養教諭を招いての「食育」授業の実施 ・保護者との連携による、生活の改善に向けた個別の指導	保護者2.9 生徒3.2 職員2.8 ・健康な生活に対する意識について、保護者と生徒との間に若干の差が見られる。学校での学習内容の保護者との共有など、実生活での実践に向けて、保護者と連携した取組が必要である。	3	・子どもにとって「食育」は大変重要だと思う。保護者の意識が大事。 ・学校では栄養管理された給食ですが、家庭ではどうでしょうか。栄養過多が心配です。	3 3 3 2
12	携帯電話やネットの利用について、メディアコントロールができている。	・情報モラル通信の発行 ・外部講師を招いての、情報モラルに関する講演の実施(参観日・家庭教育学級) ・調査実施による実態把握と対策 ・生徒と保護者によるルールづくり	保護者2.3 生徒3.3 職員2.0 ・評価の差から、生徒は「自分でできている」と過信している可能性が高く、現実の利用状況との乖離が大きい。メディアリテラシー教育の強化が急務である。	2	・携帯片手に遊ぶ子どもたちをよく見かける。ながら携帯など、今後広い意味で使い方、コントロール課題が多い。 ・メディアコントロール、中学生ではまだまだ怖さがわからないでしょう。専門家の徹底した教育が必要だと思います。	2 2 2 2 2
13	命や性に関する知識を正しく身に付けていく。	※8に同じ ・いのちの教育の充実(日南市レインポープランなど) ・道徳の時間の充実	保護者3.2 生徒3.4 職員2.8 ・保護者と生徒の評価が高く、保健体育の授業や性教育等で提供している基本的な知識は、生徒は概ね理解し、定着していると考えられる。	3	・中学校は、命の尊さを学ぶ最後の時期かと思っています。今のうちに命の教育の徹底をお願いします。	3 3 3 3
14	保体の授業や部活動、校外活動などをとおして、適度に運動に親しんでいる。	・保健体育科の授業における運動量の確保 ・部活動参加の推奨 ・自力登校の励行 ・昼休みのグラウンド開放	保護者3.4 生徒3.5 職員3.3 ・自ら運動に親しもうとする生徒が多く、保護者、生徒ともに高い評価であり、大変好ましい結果であると捉える。	4	・昼休み、グラウンドで運動している生徒が多い。 ・昼休みもわずかな時間を惜しんで運動場で遊んでいる姿を見ると安心します。もっと体を動かして遊んでください。	3 4 4 4 3
15	学校は、避難訓練などにより、防災に対する意識の高揚に努めている。	・各種避難訓練の実施 ・各種通信やホームページでの、避難訓練実施時の情報の発信	保護者3.5 生徒3.5 職員3.6 ・訓練等の取組が、生徒に防災に向けての意識を高めてきていることが伺える。避難時の行動マニュアルなどを確認することで、防災への意識を高め、非常時に生徒が主体的に行動するよう指導している。	4	・津波避難訓練を見させていただいたが、生徒の取組、先生方の誘導、どれも素晴らしかった。 ・いざという時の訓練です。机上だけでなく体験こそが身を守る最大の手段だと思います。	3 4 4 4 4

【今後の課題と改善策】 ※学校記入

○メディア利用における自己管理が最大の課題であり、依存やトラブルのリスクが懸念される。また、食育や健康管理についても、学校での学びを家庭での実践にどうつなげるか、家庭との連携が不可欠である。メディアリテラシー教育の抜本的な強化を重点取組事項とし、食育面では、家庭との学習内容の共有する取組を推進する。また、運動習慣や防災意識の高さという強みを維持しつつ、命の尊さへの理解を深め、非常時に自ら判断できる心身のたくましさを育成していく。

総合評価

3

④経営ビジョン重点目標: **地域・家庭との連携推進** 4段階評価 4…達成 3…概ね達成 2…改善の余地あり 1…工夫・改善が必要

	目指す生徒や職員の姿	手立てや具体的取組例	自己評価		学校運営協議会委員による評価	
			コメント(評価値は平均値)	評価	コメント	評価
16	学校は、学校だよりや各種通信、ホームページなどで、地域や家庭に積極的に情報を発信している。	・各種たよりの定期的発行、ホームページの更新 ・日南市秘書広報課を通しての報道機関への情報提供	保護者3.5 生徒3.3 職員3.6 ・各学級からの通信、学校だより等が定期的に発行されており、ホームページの更新も可能な限り最新の情報を掲載するよう努めている。	4	・ホームページの更新が常にされているので、学校の様子がわかりやすい。 ・いつも情報発信ありがとうございます。学校の様子が地域の人に伝わると思っています。	4 4 4 4 4
17	学校は、地域の人材や素材、教育力を積極的に取り入れている。	・学校運営協議会、地域協議会との連携 ・生徒が地域に目を向け、自らの生き方を考えていくことができるような教育活動(総合的な学習の時間)	保護者3.2 生徒3.3 職員3.1 ・様々な面への地域のバックアップが大変心強い。地域との連携により、生徒が視野を広げ、生き方を考えることができるような場を設定することができた。	3	・運営協議会、油津地域協議会と連携が取れているので、地域の方が協力してくれていると思います。	3 3 3
18	学校は、体験活動(職場体験学習、職業講話など)を充実させ、キャリア教育の充実に努めている。	・職場体験学習の実施 ・様々な校外イベントへの参加の推奨(案内配付・掲示等)	保護者3.3 生徒3.4 職員3.2 ・中学校3年間を通してキャリア発達に関わる能力を育成していくために、生徒が自ら問いをもち、深く考えるような場の設定、提供を今後も積極的に行っていきたい。	4	・中学生が様々な職場を体験することは重要である。今後も続けてほしい。 ・これも貴重な体験です。これからもぜひ継続して行ってください。	4 4 4 4 3
19	学校は、一人一人の子どもを大切に、保護者や地域に対しても、誠意ある対応をしている。	・家庭や地域との連携による生徒指導の充実 ・相談活動の充実 ・職員のコンプライアンス意識を高めていく取組	保護者3.2 生徒3.4 職員3.7 ・ともに高い評価をいただき、「信頼される学校づくり」に向けた取組を評価していただいているものと捉えたい。	4	・家庭、地域との連携は間違いなくとれていると思います。これからも保護者、地域の方が気軽に来れる学校をお願いします。	3 4 4 4
20	本校に入学させて(して)よかった。	・全ての教育活動をとおしての、生徒の自己実現を目指した指導	保護者3.5 生徒3.3 職員3.6 ・項目6とも重なるが、学校が生徒にとって安心安全な場所であることの表れであると捉えたい。「今日が楽しく、明日が待たれる学校」の具現化に向けて、今後も一人一人が輝ける学校づくりを目指していきたい。	4	・最後にとても鋭い項目ですね。今の油津中学校がどうなのか、これでわかりますね。評価4、とても素晴らし学校です。	4 4 4 4

【今後の課題と改善策】 ※学校記入

○ホームページや各種通信を通じた積極的な情報発信、及び地域との連携体制は高く評価されている。これらの良好な関係性を土台としつつ、生徒がより深く自らの生き方を模索できるような質の高い学びの場をいかに提供していくかが課題である。現在の地域人材の活用を継続しつつ、事前・事後学習の充実を図ることで、生徒の主体的なキャリア発達を促していく。また、地域・家庭との双方向のコミュニケーションを深化させ、全職員で誠意ある対応を徹底していく。

総合評価

4